

Panasonic®

緊急警報放送対応
TV-FM-AM
3バンドレシーバー

品番 RF-U99

取扱説明書

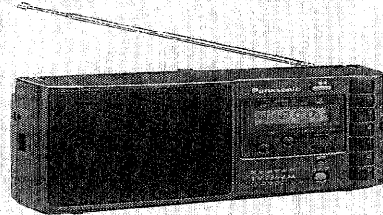
このたびはTV-FM-AM 3バンドレシーバーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。

■保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

上手に使うって上手に節電



付属品

電源コード
単1形乾電池(4コ)
(本体の中に収納されています。)

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部
〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06) 909-1021

RQTK0023-S
F-0994m1074

定格

受信周波数

AM : 522-1629kHz

FM : 76-90MHz

TV : 1-12ch

スピーカー

: 10cm円形 4Ω

出力端子

: イヤホン(16Ω)

実用最大出力(100%)

: 700mW(EIAJ)

電源

電灯線 : AC100V、50/60Hz

乾電池 : DC6V(単1形乾電池×4個)

消費電力

: AC3W

緊急警報スタンバイ時の消費電力 : 約AC1W

最大外形寸法

: 256(W)×153(H)×87(D)mm(EIAJ)

重量

: 約1550g(乾電池含む)

電池持続時間(EIAJ)

使用乾電池	AM受信時	FM/TV受信時	緊急警報スタンバイ時	
			AM	FM/TV
ナショナルネオ〈黒〉 (R20PU)	約143時間	約110時間	約210時間	約145時間
パナソニックアルカリ (LR20)	約240時間	約180時間	約360時間	約250時間

電池持続時間は、使用条件により短くなることがあります。

電源「切」、緊急警報選択「切」時の消費電力……約0.44W(ACのとき)

この定格は、性能向上のため変更することがあります。

本機をご使用のお客様へ

●災害に関する緊急警報は、本来、法令に基づき、国または地方公共団体が適切な手段を選んで国民に伝達するものでありますが、その補助的な手段の一つとして放送電波を利用したものが、この緊急警報放送システムです。

この受信機は、電源ボタンで電源を切っているときでも緊急警報選択つまみを「1種」、「1種・2種」に切り換えていけば、緊急警報放送を受信することができるようにしたのですが、この受信機自体で災害による被害を予防したり損害を回避するものではありません。

従って、緊急事態発生時に、万一、本機の不具合や、お取り扱いの誤り等により、情報伝達が行われなかった場合でも、災害により発生した損害について補償するものではありませんので、このことをご理解のうえ、本機をご使用ください。なお、本機が正しく作動するかどうかを、定期的な試験放送等により確認すると共に十分な点検、管理をしてください。万一、不具合が生じた場合は、お求めの販売店または最寄りの「修理相談窓口」（裏面参照）にお問合わせください。

緊急警報放送とは

緊急警報放送とは、下記の警戒宣言、警報が発せられた場合の放送システムです。緊急警報放送の使用区分については、緊急警報の内容により、第1種と第2種に区別して放送されます。

本機は緊急警報選択つまみを「1種」または「1種・2種」にしておくと、電源「切」（スタンバイ）の状態であっても、緊急警報放送用の開始信号が放送局から送信されると、自動的に受信状態になり緊急警報放送を聞くことができます。

※スタンバイとは緊急警報放送が受信できる状態のことを表しています。

放送内容	使用区分
1. 大規模地震の警戒警報	第1種
2. 災害対策基本法に基づき地方公共団体の長が発する災害に関する警報	第1種
3. 津波警報	第2種

緊急警報放送の詳細は裏面をご覧ください。

緊急警報放送の試験放送実施内容

1994年6月現在、緊急警報放送の試験放送は、下記の通り実施しています。

実施放送局名	NHK-ラジオ第1放送 (AM)
	NHK-FM放送
	NHK-総合テレビ
実施日	毎月1回、月初め (9月1日、10月1日等) (ただし、1月のみ4日に変更)
時間	午前11時59分～午後0時00分

●上記以外の放送局でも、緊急警報放送を実施する局があります。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、イヤホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です)

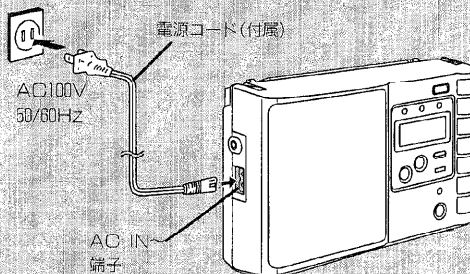
お買い上げ日	年	月	日	品番	RF-U99
販売店名				☐()	-
お近くの ご相談センター				☐()	-

電源の準備

家庭用コンセント、または単1形乾電池4コで使えます。

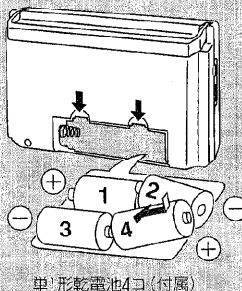
緊急警報放送用としてお使いになるときは、家庭用コンセントでご使用ください。

家庭用コンセントで使う



乾電池で使う

番号順に入れる。(乾電池はあらかじめ収納されています。)



取り出し方

矢印の部分を強く押すと、電池が浮き上がり、取り出しやすくなります。

電源について

放送内容	電源	緊急警報選択つまみ
一般放送のみを受信する	家庭用コンセント または乾電池で	「切」
緊急警報放送も受信する	家庭用コンセント と乾電池で	「1種」または 「1種・2種」

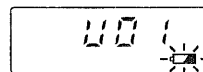
●緊急警報放送用としてお使いのとき、停電など、家庭用コンセントでご使用できない場合やメモリー保護のために、乾電池を入れておいてください。

停電がほとんどなかった場合でも、1年に1回は乾電池電源で放送を受信し、乾電池の消耗を確認してください。

●乾電池でお使いになるときは本体のAC IN→端子から電源コードを抜いてください。接続したままでは乾電池電源に切り換わりません。

電池が消耗すると

ディスプレイの電池アイコンが点滅します。さらに消耗が進むと「U01」が表示され、操作できなくなります。



すべて新しい電池と交換してください。

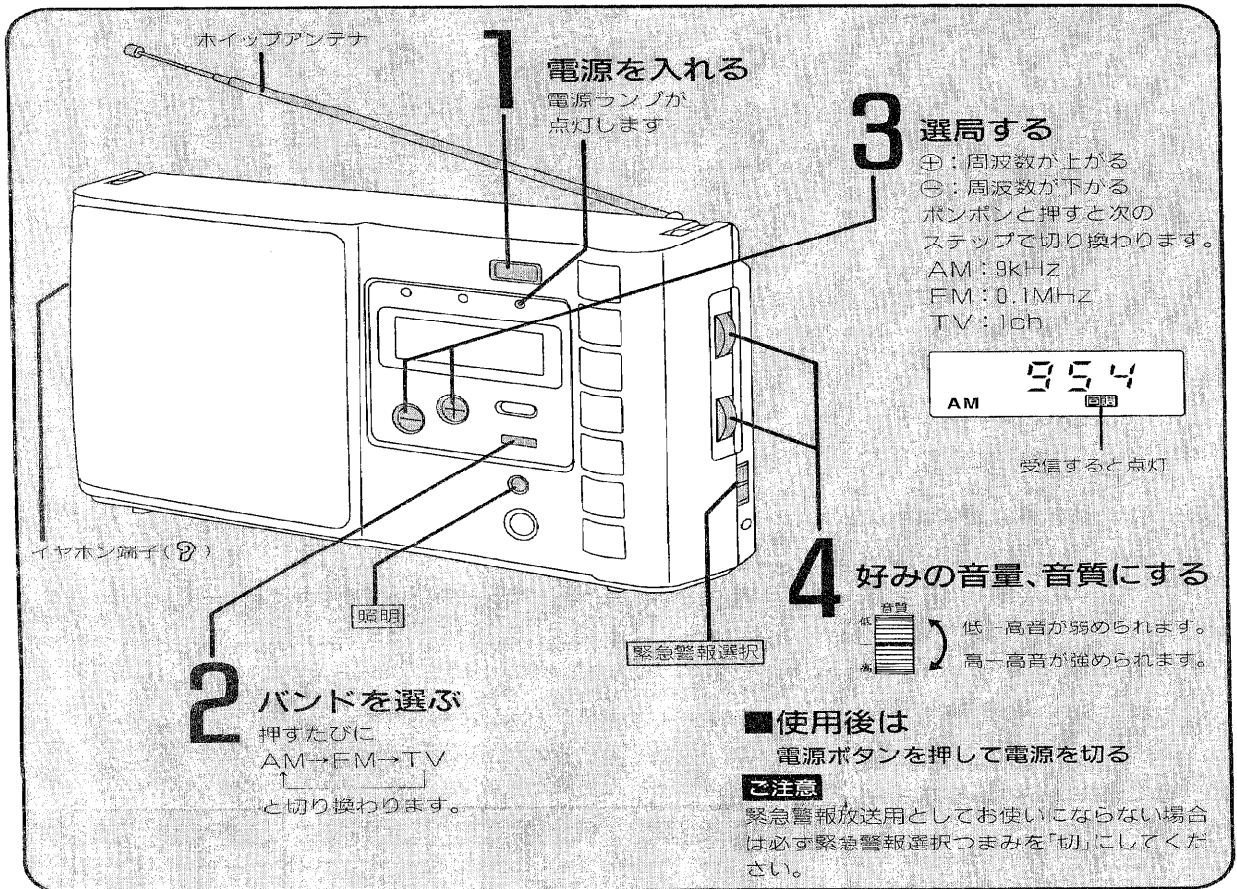
●メモリー内容保護のため、電池交換は約1分以内に行ってください。

●本機ではメモリー保護のため、乾電池の容量がわずかに残った時点をもって寿命としています。

ご注意

乾電池でご使用のとき、緊急警報選択つまみが「1種」または「1種・2種」になっていると電源ボタンを押しても電源を切っても緊急警報放送のスタンバイ状態になっています。この状態で放置するとラジオを聞いているときとほぼ同じように乾電池が消耗します。緊急警報放送用としてお使いにならない場合は、緊急警報選択つまみを「切」にしてください。

ラジオを聞く



■自動で選局するには

⊕または⊖ボタンを押し続け、周波数が動き始めたら指を離す。

受信状態のよい放送局を選ぶと自動的に止まります。

途中で止めるには

もう一度、⊕または⊖ボタンを押す。

■注意

- ボタンを押したまましていると、放送局があっても停止しません。
- 周囲に妨害電波があると、放送局を受信せずに停止することがあります。

■イヤホンで聞くには

モノラルイヤホン(RP-HV20、別売り)をイヤホン端子に接続する。

耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

- 乗物や建物の中では、電波が弱まり聞こえにくくなることがあります。できるだけ窓際でお聞きください。
- 本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはTVの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することがあります。

■アンテナの調整

(より良い受信をするために)

AM放送

本体を最もよく聞こえる向きに変えてください。内蔵のフェライトアンテナが働きます。

FM、TV放送

ホイップアンテナの長さや向きを調整します。

■暗い所で表示を確認するには

■照明を押す。

ディスプレイが約5-10秒間明るくなります。

■操作時の確認音について(ビーブ)

電源、照明以外のボタンを押すと、ビ、ピピなどの確認音が鳴り操作を確認できます。

■確認音を使わないときは

電源「切」状態のときに⊖(選局)ボタンを押しながら、電源を押す。

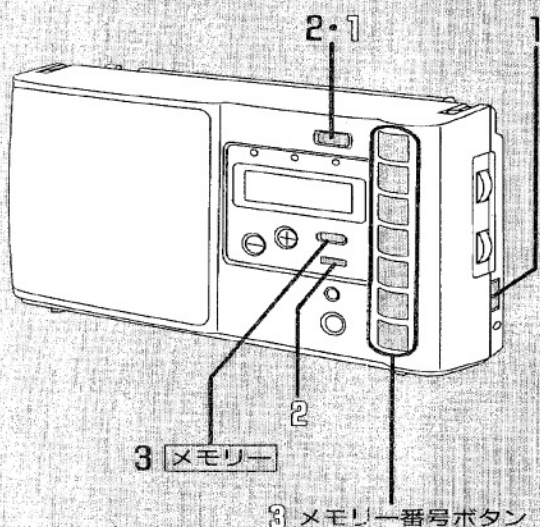
“bEEp”の後、“OFF”を表示します。

確認音を使うには

電源「切」状態のときにもう一度同じ操作をします。

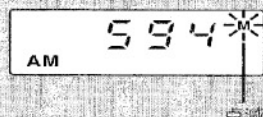
放送局を記憶させて聞く

1から7までのメモリー番号ボタンに、放送局を記憶させておくと、ワンタッチで選局できます。
(各バンドごとに7局まで)



自動で放送局を記憶させるには (オートメモリー)

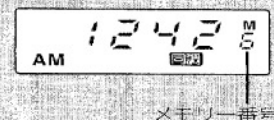
- 1 **緊急警報選択** を「切」にする
- 2 **電源** を押す
- 3 **オートメモリー** を押し続け、周波数が動き始めたら指を離す



- 自動的に放送局を受信し、次々に記憶していきます。AM, FM, TVの順にメモリーします。

記憶させた放送局を聞くには

- 1 **電源** を押す
- 2 **バンド** を押し、バンドを選ぶ
押すたびに
AM→FM→TV
- 3 **メモリー番号ボタン(1-7)** を押し、放送局を選ぶ



注意

オートメモリーすると、前回メモリー番号1~7に記憶させた放送局は全て消えます。

こんなときは1局ずつ記憶させてください。

- 電波が弱くオートメモリーできないとき
- 電波が強すぎて周波数がずれるとき

1局ずつ記憶させるには

好みの放送局を、好みのメモリー番号ボタンに記憶できます。

1. 記憶させたい放送局を選局する
「ラジオを聞く」手順1-3参照
2. **メモリー** を押す
ディスプレイの“M”が約10秒間点滅します。
3. “M”が点滅中に好みのメモリー番号ボタンを押す(1-7)
“M”と記憶させたメモリー番号が点灯します。

スリープタイマーを使う

動作中、または電源「切」状態で **スリープ** を押し、ラジオを聞きたい時間(分)を選ぶ
(最大120分まで)

押すたびに
120→90→60→30→解除(スリープ表示が消える)

約3秒後に周波数表示に戻ります。



スリープ表示

設定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

■タイマー動作中に残り時間を確かめるには
スリープ を1回押す。

- 残り時間が約3秒間表示されます。

■同じ設定時間で使うには

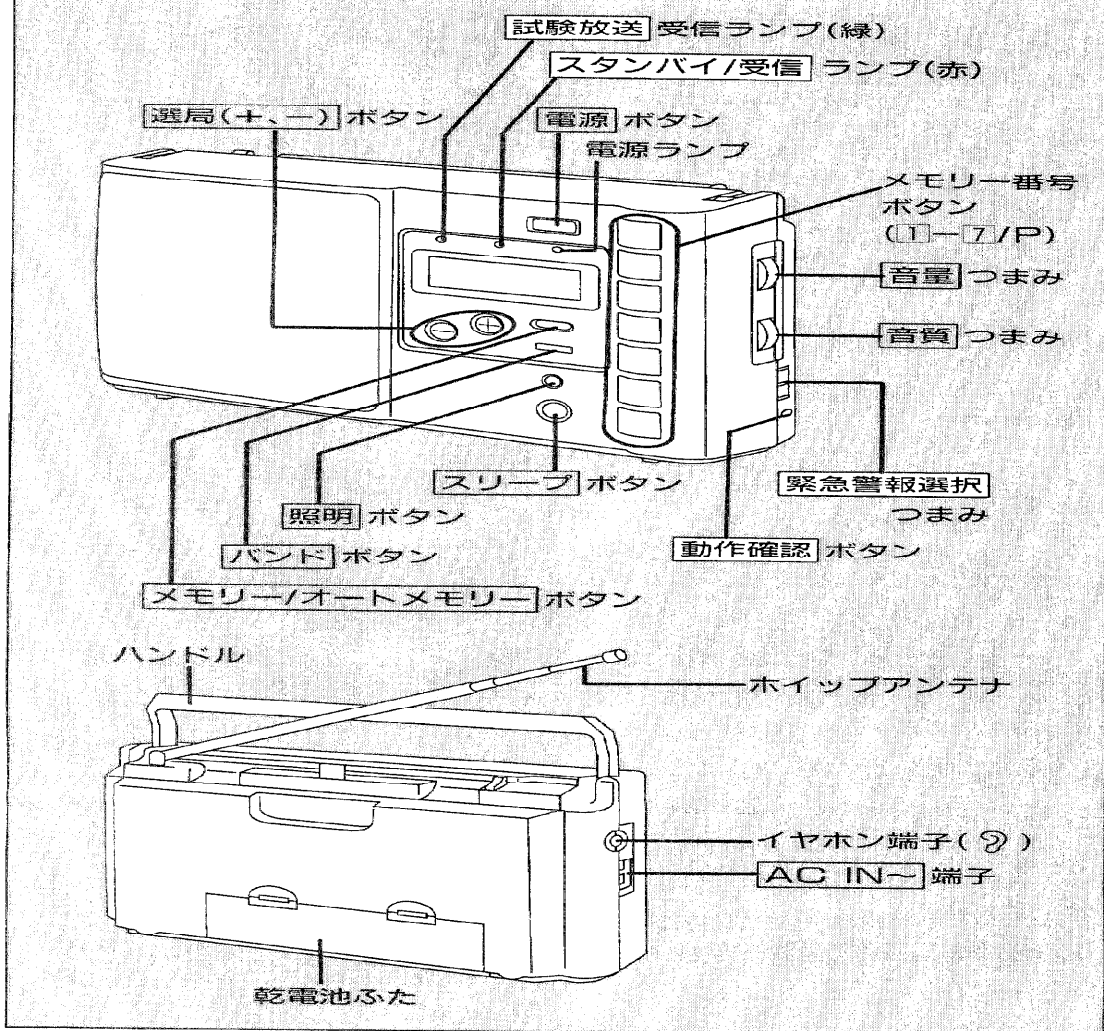
スリープ を1回押す。

- 前に選んだ時間を記憶しています。

ご注意

タイマー動作中に緊急警報放送を受信するとスリープ表示は消えませんが、タイマーは一時停止します。

各部のなまえ



緊急警報対応部分について

試験放送 受信ランプ(緑)

試験放送を受信すると点灯します。受信後約9.5時間で消灯します。

スタンバイ/受信 ランプ(赤)

緊急警報放送スタンバイ時は点灯し、緊急警報放送を受信すると点滅します。

緊急警報選択 つまみ

- 1種 : 地震など、災害に関する警報を受信します。
- 1種・2種 : 1種の警報と津波警報を受信します。
- 切 : 緊急警報放送を受信しません。

動作確認 ボタン

緊急警報放送受信の機能が正常に動作するかどうかを確認できます。

メモリ 7/P ボタン

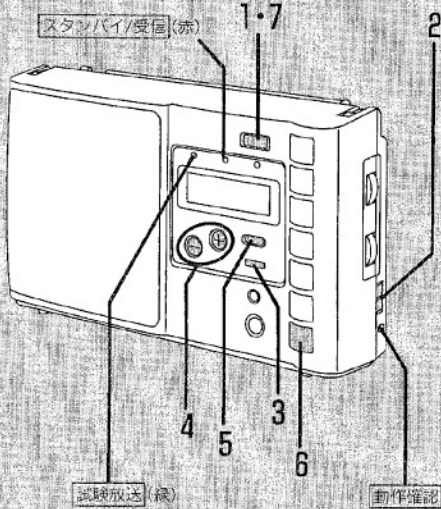
緊急警報選択つまみが「切」のときはメモリが「7」、「1種」または「1種・2種」のときはメモリが「P」に切り換わります。
緊急警報放送実施局を記憶させておくと、電源「切」(スタンバイ)時でも緊急警報放送を受信できます。

緊急警報放送を受信する

家庭用コンセントでお使いください。

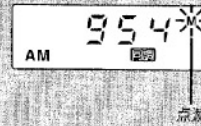
電源「切」(スタンバイ)の状態からでも常に緊急警報放送を受信できるように、放送局を記憶させておいてください。

居住する放送サービス区域(各県)内にある緊急警報放送を実施している放送局は新聞、ラジオ、テレビやお求めの販売店または最寄りの「お客様ご相談センター」でご確認ください。

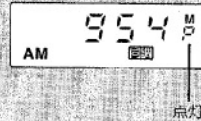


緊急警報放送実施局を記憶させる

- 1 電源を押す
- 2 緊急警報選択を「1種」または「1種・2種」の位置にする
津波警報が不要なときは、「1種」にしてください。
- 3 バンドを押して、AM、FM、TVを選ぶ
- 4 ⊕、⊖を押して、緊急警報放送を実施している放送局を選局する
- 5 メモリーを押す
ディスプレイの「M」が10秒間点滅します。



- 6 「M」が点滅中に、7/Pを押す
「M」と「P」が点灯します。



- 7 電源を押して、電源を切り、スタンバイ/受信ランプ(赤)が点灯していることを確認する
点灯するとスタンバイ状態になります。
 - 電波が弱く、ランプ(赤)が点灯しない場合は緊急警報放送は受信できません。ランプ(赤)が点灯する場所でお使いください。
 - オートメモリー(裏面参照)をしても「P」にメモリーした放送局は消えません。

緊急警報放送を受信したとき

音量つまみとは無関係に一定の音量で「ピロ、ピロ…」という警報音が鳴った後、緊急警報放送の内容を聞くことができます。

- このとき音量つまみを「小」のほうに回しても無音にはなりません。
- スタンバイ/受信ランプ(赤)が点滅します。

緊急警報放送が終了したとき

「ピロ、ピロ…」という音が鳴った後、緊急警報を受信する前の状態に戻ります。

- 停電など、家庭用コンセントでご使用できない場合やメモリー保護のために、乾電池を入れておいてください。
- 停電時に使用するとき、乾電池電源に切り換えるため、AC IN~端子から電源コードを抜いてください。
- 停電終了時には、再び家庭用コンセントでお使いください。

注意

- 夜間、放送が中断されるとスタンバイ/受信ランプ(赤)が消灯しますが、放送が開始されると点灯します。
- 緊急警報放送を実施している放送局以外を受信している(聞いている)ときは、緊急警報放送は受信できません。
- 緊急警報選択つまみを「切」にしていると、緊急警報放送は受信しません。かならず、「1種」、「1種・2種」に切り換えてください。

- 緊急警報放送受信時の本機の状態を解除するには本体前面の操作ボタン(照明ボタンを除く)を押す
音量つまみの音量に戻り、スタンバイ/受信ランプ(赤)が消灯し、通常のラジオ受信状態に戻ります。
- 緊急警報放送受信状態から電源ボタンを2回押すとスタンバイ状態に戻ります。

ラジオを聞いていないときでも、緊急警報選択つまみを「1種」「1種・2種」の位置にしているときは、ラジオを開いているときと同等の電力を消費しています。

受信機能を確認する

緊急警報放送はいつでも放送されているものではありません。あらかじめ機能が正常に動作するかを確認する方法が2種類あります。

確認前に、緊急警報選択つまみを「1種」または「1種・2種」にしておきます。

■試験放送を受信して動作確認する

試験放送の実施内容は、裏面の「緊急警報放送の試験放送実施内容」をご参照ください。

電源「切」(スタンバイ)、または試験放送実施局を受信した状態にしておきます。

試験放送を受信すると試験放送受信ランプ(緑)が点灯します。

- 電源「切」(スタンバイ)の状態から受信すると、音は出ません。
- 試験放送受信ランプ(緑)は、約9、5時間後、自動的に消灯します。途中で消灯させるときは、緊急警報選択つまみを「切」にして、電源ボタンを押して電源を切ります。

■動作確認ボタンを押して動作確認する

電源「入」、または電源「切」いずれの状態からでも確認できます。

動作確認ボタンを押すと、スタンバイ/受信ランプ(赤)が点滅し、音量が一定になります。

- 電源「切」(スタンバイ)の状態で行うと、電源が入り、メモリー“P”の放送局を受信します。

次のようなとき、終了信号を受信すると試験放送受信ランプ(緑)が点灯することがあります。

- 緊急警報放送受信中に受信状態を解除したとき
- すでに開始されている緊急警報放送に同調したとき

■動作確認状態を解除するには

本体前面の操作ボタン(照明ボタンを除く)を押す

音量つまみの音量に戻り、スタンバイ/受信ランプ(赤)が消灯し、通常のラジオ受信状態に戻ります。

- 受信状態から電源ボタンを2回押すとスタンバイ状態に戻ります。

ご注意/お手入れ

■電源はAC(交流)100Vで

電源コードは正しく取り扱ってください。取り扱いを誤ると危険です。

- プラグを持つ
- 濡れた手でさわらない
- 重いものを載せない
- 無理に曲げない

■加工・改造はしない

故障の原因になります。

■水、薬品はかからないように

引火、火災や感電のおそれがあります。

■落としたり、強い衝撃をあたえない
破損することがあります。

■避けてほしい使用場所は

次のような場所で使用すると故障の原因になります。

1. 風呂場など湿気の多い所
2. 倉庫などほこりの多い所
3. 暖房器の近くなど温度の高い所

■夏の開め切った車内に放置しない

100°Cに達することもありますので、キャビネットが変形、変色することがあります。

■キャッシュカードなど磁気を帯びているものに近づけない

スピーカーの磁気の影響で、カードが使えなくなったり、時計が正しく働かないことがあります。

乾電池

乾電池の破損・液漏れなどの防止のために次のことをお守りください。

- 違う種類(マンガンとアルカリ)の乾電池は混用しない。
- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しない。
- +プラスと-マイナスは正しく入れる。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておく。
- 充電しない。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱はしない。

お手入れについて

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、水か石けん水を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その説明書をご覧ください。

保証とアフターサービス 保証内容/相談センター一覧表

修理・お取扱い・お手入れ

などのご相談は

まず、お買い上げの販売店へ

お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は...

- 修理は、サービス会社(MTS)の「修理相談窓口」へ/
- その他のお問い合わせは、「お客様相談センター」へ/

●保証書 (別に添付してあります。)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのと、保存してください。

【保証期間—お買い上げ日から1年間】

●修理を依頼されるとき

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、直らないときはまず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品は、ご希望により有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

首都圏地区	
お客様相談センター 首都圏 ☎ 03(435)9521 東京都港区芝公園1丁目2	埼玉 ☎ 048(728)8960 浦川市赤堀2丁目4の2 千葉 ☎ 043(251)3537 千葉市稲毛区園生町388の1 横浜 ☎ 045(743)7090 横浜市保土ヶ谷区狩場町169 新潟 ☎ 025(286)0171 新潟市東区1丁目80の14 佐渡 ☎ 0259(23)2898 新潟市秋葉区108の1 長岡 ☎ 0258(28)2111 長岡市寺島町308の20 上越 ☎ 0255(44)6871 上越市大字藤野新田字大別353の3
修理相談窓口 宇都宮 ☎ 0286(32)8450 宇都宮市中央1丁目8の13 高崎 ☎ 0273(52)1217 高崎市萩原町沖中205の18 両毛 ☎ 0276(25)6870 太田市東新町244の1 水戸 ☎ 0292(25)0119 水戸市柳河町309の2 つくば ☎ 0298(55)7860 つくば市梅園2丁目1の13	木更津 ☎ 0438(25)1125 木更津市員刈4丁目17の8 銚子 ☎ 0479(33)2723 銚子市野尻町1854 船橋 ☎ 0474(23)7565 船橋市市場4丁目12の17 柏 ☎ 0471(63)8905 柏市北柏1丁目7の8 東京 ☎ 03(5477)9780 東京都世田谷区経堂5丁目28の8

中部地区	
お客様相談センター 中部 ☎ 052(951)3167 名古屋市中区東1丁目23の30	福井 ☎ 0776(54)5606 福井市開発4丁目112 松本 ☎ 0263(58)0073 松本市大字笹賀7600の7 静岡 ☎ 054(287)9000 静岡市西島765 名古屋 ☎ 052(614)3136 名古屋南区西又兵衛町3の48 岐阜 ☎ 0583(23)6010 岐阜県本巣郡北方町高屋太字2丁目30 高山 ☎ 0577(33)0613 高山市花園町3丁目2 三重 ☎ 0592(55)1380 久米町森町北谷1920の3
修理相談窓口 石川 ☎ 0762(94)2683 石川県石川郡野々町稲荷3丁目80 富山 ☎ 0764(32)8705 富山市寺島1238	

関西地区	
お客様相談センター 関西 ☎ 06(949)2050 大阪市中央区城見2丁目1の61	京都 ☎ 075(672)9636 京都市南区上鳥羽石橋町20の1 大阪 ☎ 06(359)6225 大阪市北区本庄西1丁目107 奈良 ☎ 07435(9)2770 大和郡山手町404の2 和歌山 ☎ 0734(33)9395 和歌山市本町9の23 神戸 ☎ 078(612)5035 神戸市長田区上池田5丁目50の23
修理相談窓口 滋賀 ☎ 0775(82)5021 守山市勝部町260	

北海道地区	
お客様相談センター 北海道 ☎ 011(221)8090 札幌市中央区北三条西1丁目	旭川 ☎ 0166(31)6151 旭川市2条通2丁目左1号 帯広 ☎ 0155(33)8477 帯広市西19条南1丁目7の11 苫小牧 ☎ 0144(32)9125 苫小牧市清水町2丁目2の2
修理相談窓口 札幌 ☎ 011(894)1251 札幌市厚別区厚別南2丁目17の7	函館 ☎ 0138(53)7107 函館市山の手1丁目1の15

東北地区	
お客様相談センター 東北 ☎ 022(263)4208 仙台市青葉区国分町3丁目1の11	盛岡 ☎ 0196(47)1741 盛岡市上釜1丁目18の22 水沢 ☎ 0197(24)7999 水沢市中西町5の10 仙台 ☎ 022(375)2512 仙台市東区名坂字清水端5の2 古川 ☎ 0229(23)8121 古川市北町5丁目1 石巻 ☎ 0225(96)3209 石巻市元島1丁目8の10 仙南 ☎ 0224(52)1842 宮城県柴田郡大河原町字緑町6の15 山形 ☎ 0236(41)8100 山形市流通センター3丁目12の2 酒田 ☎ 0234(26)5802 酒田市東高町7の15
修理相談窓口 青森 ☎ 0177(39)9712 青森市大字八ツ段字矢作1の37 八戸 ☎ 0178(45)8665 八戸市城下4丁目22の25 弘前 ☎ 0172(34)6006 弘前市代官町85 秋田 ☎ 0188(26)1600 秋田市西野瀬本2丁目1の2 大館 ☎ 0186(42)0815 大館市片山町2丁目306 横手 ☎ 0182(32)1752 横手市横手町字一の口3	鶴岡 ☎ 0235(22)3285 鶴岡市宝田1丁目1の12 新庄 ☎ 0233(22)7166 新庄市小田島町5の40 米沢 ☎ 0238(22)7141 米沢市金池町3の13 郡山 ☎ 0249(45)4463 郡山市安積町荒井字大久保39の1 福島 ☎ 0243(34)1309 福島県安達郡本宮町字南ノ内55 福島北 ☎ 0245(34)9121 福島市御山字一本木77の1 いわき ☎ 0246(34)5810 いわき市平中神宮字下知内59の4 会津 ☎ 0242(22)6221 会津若松市北町大字始字深町10

International Customer Care Center (海外ご相談センター)

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品(輸出製品・海外生産品・ツーリスト製品)についてのご相談は...

TOKYO AKIHABARA 秋葉原	☎ 03-3256-5444 1-8-1 Sotokanda Chiyoda-ku Tokyo	OSAKA NIPPOMBASHI 日本橋	☎ 06-645-8787 4-10-2 Nippombashi Naniwa-ku Osaka
---------------------------	---	-----------------------------	--

ご注意

所在地、電話番号が変更になることがありますので、予めご了承ください。

中国地区	
お客様相談センター 中国 ☎ 082(242)9511 広島市中区国泰寺町2丁目3の23	出雲 ☎ 0853(21)3133 出雲市渡橋町416 浜田 ☎ 0855(22)6629 浜田市中下町327の93 岡山 ☎ 086(292)1162 岡山県瀬部早島町矢尾807 津山 ☎ 0868(23)1264 津山市北園町22の8 広島 ☎ 082(230)8777 広島市西区楠木町4丁目9の26 松江 ☎ 0852(23)1128 松江市西津田2丁目10の19
修理相談窓口 鳥取 ☎ 0857(26)9695 鳥取市安長295の1 米子 ☎ 0859(34)2129 米子市米原4丁目2の33 松江 ☎ 0852(23)1128 松江市西津田2丁目10の19	福山 ☎ 0849(53)8115 福山市明2の14 尾道 ☎ 0848(20)2401 尾道市東尾道110の22 徳山 ☎ 0834(22)1627 徳山市清山峠作821の5 山口 ☎ 0839(89)4441 山口市大字佐山1120の1 下関 ☎ 0832(56)4597 下関市秋保北町5の7

四国地区	
お客様相談センター 四国 ☎ 0878(51)3338 高松市古新町8の1	徳島 ☎ 0886(98)1125 徳島県徳島郡北島町鱈浜字かや108 高知 ☎ 0888(66)3142 南国市岡豊町中島331の1 香川 ☎ 0878(74)6200 香川県綾歌郡国分寺町新名663の1 徳島 ☎ 0899(71)2106 松山市土居町750の2 宇和島 ☎ 0895(25)6280 宇和島市中央町1丁目5の43 高知 ☎ 0897(33)6157 新居浜市庄内4丁目40の2
修理相談窓口 香川 ☎ 0878(74)6200 香川県綾歌郡国分寺町新名663の1	

九州地区	
お客様相談センター 九州 ☎ 092(414)3039 福岡市博多区博多駅南1丁目2の13	大分 ☎ 0975(56)3815 大分市萩原4丁目8の35 中津 ☎ 0979(24)6150 中津市大字万田612の1 日田 ☎ 0973(24)6464 日田市玉川町3丁目554の2 宮崎 ☎ 0985(85)6530 宮崎県宮崎郡清武町下加納366の2 延岡 ☎ 0982(22)1138 延岡市御本町1の30 都城 ☎ 0986(22)2014 都城市平江町2街区13号 熊本 ☎ 096(367)6067 熊本市健康本町12の3
修理相談窓口 福岡 ☎ 092(593)9036 春日市春日公園3丁目48 佐賀 ☎ 0952(26)9151 佐賀市本庄町大字本庄396の2 長崎 ☎ 0958(57)4050 長崎県佐賀町597 佐世保 ☎ 0956(31)8719 佐世保市日字町278の6	八代 ☎ 0965(34)5611 八代市本野町2571の1 天草 ☎ 0969(22)3125 本港市港町18の11 鹿児島 ☎ 0992(50)5657 鹿児島市与次郎1丁目7の36 薩摩 ☎ 0996(25)2239 川内市永利町703の2 鹿屋 ☎ 0994(44)7031 鹿屋市共栄町20の9 大島 ☎ 0997(53)5101 南城市天之城町10の15

沖縄地区	
お客様相談センター 沖縄 ☎ 098(877)1205 浦添市城間4丁目23の11	北部 ☎ 0980(52)3458 名護市宇字茂茂914の3 中部 ☎ 098(933)4010 沖縄市本町2丁目26の66